

週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

Vol.41 第2031回例会

2008.6.12



今年度会長テーマ

ロータリーは楽しさを分かちあい
ロータリーに楽しさを分かちあい
新しい仲間の輪を拓きましょう 皆さまとともに

■司会：
漆原例会運営委員



■点鐘：町田次年度会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」
◆ソングリーダー：高橋会員



■お客様紹介：
野崎(征)パスト会長



◆ゲスト：
津久井RC 山本芳昭様

■会長報告 町田次年度会長

本日は樺澤会長がロサンゼルスで行なわれている世界大会に参加なされていますので副会長・町田清二が会長の代行として会長報告をいたします。



ロータリー情報についての一口メモとして一言
新会員の同化、および会員間の親睦と情報交換、そしてロータリーを推進するために会員の自宅その他に少人数が集まって和やかに自由討論する会合で、家族との理解と親睦を深めるためにも推奨されているプログラムである特別会合の一つとされている会合は1989年までファイヤー・サイド・ミーティング(炉辺会合)の名称で親しまれてきたが

1990年よりインフォーマル・ディスカッション・ミーティング(家庭集会)と改称されています。ただファイヤー・サイド・ミーティングはゴロからも言い易さからも日頃クラブ内で使用されているようです。

今年は何の年か？まず子年、五輪の年ぐらいですが世界的には国際衛生年、国際言語年、国際ポテト年、国際惑星年、そして各国がその保護に協力して取り組む国際珊瑚礁年等があります。

■幹事報告

河野幹事

■ガバナー事務所：
社会奉仕ならびに環境保全の活動報告の受理



■2008～09年度地区広報委員長：
2008～09年度地区広報委員長よりお願いについて
マスコミ関係の職業(テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等)に携わる会員の情報提供について

■「社会を明るくする活動」東村山市実施委員会：
平成20年度「社会を明るくする活動」
東村山市実施委員会の開催について
2008年6月24日(火) 18:30～20:00
於 東村山市民センター

■東京青梅RC：
2008～09年度多摩分区幹事会について
2008年6月28日(土) 18:00～
於 フォレストイン昭和館

■回覧：
「友」インターネット速報 No.337
心の東京革命

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市民栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／相羽 正 小林 学 田中 重義

■事務所／〒189-0013
東京都東村山市民栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

■出席報告 肥沼例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
43	33	1	9	77.50

■前々回メイクアップ修正後
前々回欠席：4名

■前々回出席率

メイクアップ修正後：89.74%

■前々回メイクアップ者：

飯田会員：所沢RC
金子会員：所沢中央RC
野崎(征)会員：所沢中央RC
秋山会員：日高RC
高橋会員：福岡RC
恵面会員：東大和RC
日時会員：地区委員会
野澤会員：地区委員会
竹田会員：地区委員会
戸澤会員：地区委員会



■ニコニコBOX 中島クラブ管理委員

◆河野幹事：前田さん卓話よろしく
お願いします。

◆樺澤会長：(USAより)楽しく
やっています。

◆前田様：土方プログラム委員長のご依頼で、
再度皆様にお逢い出来ますこと大変
嬉しく思います。河野幹事さんに会
場まで自動車に乗せていただきました。

◆木下会員、當間会員、五十嵐会員；
前田さん卓話よろしくお願いします。

◆野澤会員：国際大会事情により、ドタキャンし
て申し訳ありませんでした。来年こ
そ参加したいと思います。



本日のニコニコ合計： 10,000円
累 計： 1,662,500円

■委員長報告

■木下次年度国際奉仕室委員会
関係委員長会報告



・対人地雷の除去に関する特別委
員会

クリアランド1号～8号の村で地
雷の事故発生はゼロクリアランド。
9号を2009年、10号を2010年で終結とします。
現地視察の旅の予定
2009年2月11日～15日(4泊5日)

・青少年交換委員会

当2580地区においてもすでに、40年以上の歴史
をもち、500人を超える高校生を海外に派遣し、
ほぼ同じ数の高校生を海外から受け入れていま
す。
今年は13名の派遣・受け入れを進めています。

・世界社会奉仕委員会

援助を求める国世界奉仕活動が円滑に

・オン・ツー・バーミンガム委員会

2009年開催のR I 国際大会に多くの会員家族の
参加をお願い致します。

■相羽クラブ管理委員長
代読：町田次年度会長



7月24日ガバナー公式訪問につ
いては6時間位の長い時間にな
りますがご理解の程、よろしく
お願い申し上げます。

■野澤青少年交換委員会副委員長

次年度の交換留学生6月1日選考
試験を無事完了しました。
当会がスポンサークラブになる
可能性がありますのでよろしく
お願い致します。



■漆原ゴルフ部長

6/27の4RCのコンペのお知らせ
西武園にて開催いたします。現在32名です。
参加できる方はまだ余裕がありますのでよろし
くお願い致します。

■卓話

前田米蔵様

■紹介者：土方パスト会長



「出会い、ふれ愛」



皆さんこんにちは。今日は土方プログラム委員長さんのご指名により再度、皆様にお逢いできますこと何よりも嬉しく思っておりますが、何分私も最近TVや、新聞で話題が沸騰している、後期高齢者の1人でございますので、ロータリーの難しい理論などをお話することはできませんので、今日は私の83年間の人生の中で彩りを添えてくれました思い出話を幾つか話させていただきます。

台湾のエン伶さんとのご縁は昭和50年の夏。羽田国際空港待合室で帰国便の搭乗口がわからず困惑している彼女を、無事案内して上げたのが始まりで、それは私と妻と姪がヨーロッパへ旅立ちする東の間のふれ合いに過ぎなかったのが帰国してみると彼女から鄭重なお礼が届いておりまして、以来、文通が始まり、翌年、青年会議所のアジア大会が台湾の台中で催されたのを機に、お言葉に甘えて、東村山のメンバーに便乗させて頂き、彼女の住む高雄市のご自宅を訪問させて頂きました。その夜、彼女の父(旧制青山師範出身)と長兄(京都中学出身)次兄の4人で私を豪華な台湾料理に招待して下さい、円卓を囲みながら初対面とは思えないほど会話も弾み、親近感がさらに深められていきました。

小柄で明るい性格のエン伶さんには不都合な夫との離婚と、それまで経営してきた洋裁店の廃業、といった悲しい出来事がありました。そんな悲しい不幸を感じさせない彼女の行き方に私たちは好感が持てました。それから数年後、彼女は洋裁の奥義を極めるため来日し、目黒のドレメ女学院研究科に1年間留学したとき、妻は遠く故国を離れて勉強に勤しむ彼女のために時折、団欒の場をつくり、手作りの料理で彼女を激励しておりましたが、そんな妻に、帰国した彼女から台湾独特の刺繍の施された豪華なドレスが贈られてきましたが、それは別れ際にちょっと寸法を取っていったとは思えない程の見事な出来栄に私たちは驚嘆させられました。

そんなエン伶さんが20年前に再婚されました。お相手は台北と台南に工場と、ニューヨークとロスと台北に本社事務所を置く、台湾有数の印刷会社の社長で、台南ロータリークラブの元会長でもある実業家で、私たちはこの良縁に双手を上げて賛意を表しました。

14年前に台北で国際ロータリーの年次大会が催されたのを機に、私と妻は、エン伶さんのご自宅を表敬訪問させて頂きましたが、その夜、家僕や運転手も交わりエン伶さんの心のこもった台湾料理に舌鼓を打ちながら何回も乾杯しました。

その夜、夫君からは流暢な日本語で「エン伶には前田さん夫妻との交際を条件にされておりますので、これからもよろしく」と言われ、固く握手をされたのには深く感動させられました。

私より2歳年長の85歳のご主人と65歳のエン伶さんのお2人は昨年秋に沖縄の私どもの家を訪問して下さいましたが、エン伶さんご夫妻との出会い、ふれ愛はこの後も温かく続けられていくものと信じております。

森田千里さんとの出会いは10年前の中国旅行の時でした。上海、南京、蘇州と巡り、最終日の食事を西湖のほとりのレストランですまそうと13名の参加者が円卓を囲んで一息ついた時のこと。もう今日でお別れかと思うと何かしなければという気になり挨拶代わりに当時習い始めたばかりのマジックを披露させて頂いたら私の真向いにいた森田千里さんが立ち上がり「私も」と言って見事な手さばきでマジックを披露して下さいたのが交際の始まりで、以後「もっと上達して幼稚園や老人ホームを慰問してあげたい」という私の願いに感じた彼女は「それでは私の今まで使っていた道具を全部上げたいから。」というわけで、12月の上旬に都内の滝野川のご自宅にお伺いしましたら、玄関の昇り口で温められたスリッパを用意されてあるのには感動させられました。その後、彼女が使用していた大小の道具を無償で東村山の自宅まで運んで頂き、ご指導もして頂いて、お陰様でその後、幼稚園や老人ホームも慰問させて頂きましたが、80歳を過ぎますと、大きな道具も扱いづらくなりましたので現在は小物だけのマジックを楽しんでおりますが、お陰様で指先をよく使うせいとかボケ防止にもなっているようです。

人間性心理学の研究によりますと、徹底した自己利益追及は必ず自己実現に失敗し、自己犠牲こそが究極的には自己実現を可能にするものであることが示されておりますが、このことはロータリーの「超我の奉仕」最もよく奉仕するものは、最もよく報いられるという奉仕哲学の中でも述べられておりますが、我々に利己心を昇華させ、相手の幸せを願う思いやりの心さえあれば誰とでも感動と共感の中で楽しい思い出がいっぱい出来ると思えます。

ご清聴ありがとうございました。